

2026年2月1日

「経堂のコーポラティブハウス」が  
建築専門誌『新建築 2026年2月号』に掲載されました

【概要】

奈良女子大学工学部・長田直之教授とICU一級建築士事務所が設計監理を担当した集合住宅「経堂のコーポラティブハウス」が、2026年2月1日発行の建築専門誌『新建築 2026年2月号』に掲載されました。

本プロジェクトは、第一種低層住居専用地域に位置する旗竿敷地において、厳しい法的条件のもとで計画されたコーポラティブハウスです。地上階と地下2層を含む断面構成を採用し、建築ヴォリュームを立体的に分節することで、敷地内外に光や風が通る外部空間を挿入しています。

敷地周辺の都市環境に加え、地形や水系、土地の履歴を踏まえたリサーチを行い、地下に二層分のヴォリュームを確保する構成を導きました。抑えられた地上のヴォリュームは、街路からアプローチ、中庭、住戸内部へと連続するポラスな空間構成を形成しています。

住戸は、トリプレットタイプを中心に地上と地下に展開し、構造・設備・住戸計画を統合したスケルトンを共有することで、多層的な住空間が成立しています。断面構成と外部空間の操作を通じて、都市住宅の条件に対する建築的な応答を試みたプロジェクトです。



新建築 2026年2月号 (26年2月1日発行) P.152~159 巻末データ P190

▼地下2層の掘削、土留め壁をそのまま構造壁に用いた



▼E住戸 地下2階からトップライトの吹き抜けを見る



【本件に関するお問い合わせ】

奈良女子大学工学 長田直之研究室 長田直之

E-mail : [nagata@cc.nara-wu.ac.jp](mailto:nagata@cc.nara-wu.ac.jp)

(機関窓口)

奈良女子大学 総務課 広報・基金係

TEL 0742-20-3220 Email : [somu02@jimu.nara-wu.ac.jp](mailto:somu02@jimu.nara-wu.ac.jp)